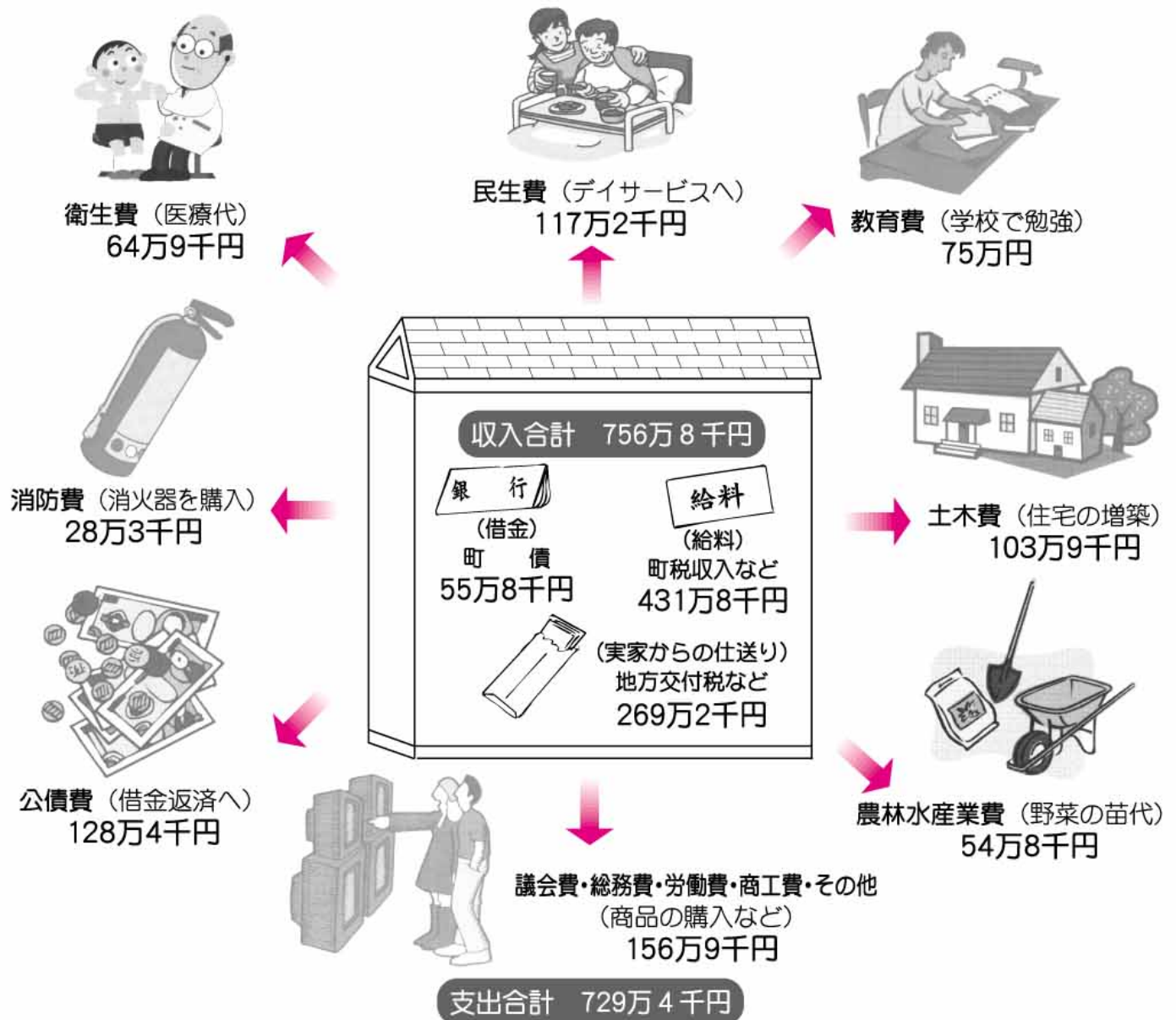


平成14年度決算を家庭に例えると・・・



※実際の決算額を千分の1にして生活をイメージしました。

町債の状況

（平成15年3月31日現在）

大型事業（学校施設・道路建設など）を行うために国や公庫、銀行などから借り入れたお金の状況

区分	14年度末現在高
普通会計（一般会計ほか）	68億 346万円
下水道会	134億 1,631万円
水道事業会	22億 6,838万円
観光施設貸付事業	16億 2,500万円

平成14年度特別会計決算額

区分	歳入総額	前年度対比	歳出総額	前年度対比
国民健康保険	10億4,963万円	5.4%	9億7,225万円	9.4%
老人保健	16億2,205万円	3.1%	16億2,204万	3.1%
介護保険	8億5,675万円	8.1%	8億5,001万円	7.9%
有線放送電話	8,627万円	± 0%	8,424万円	± 0%
下水道事業	18億3,950万円	△25.2%	18億1,568万	△23.6%
観光施設貸付事業	16億2,699万円	—	16億2,699万	—
公共用地取得事業	4,347万円	△ 3.2%	4,343万円	△ 3.3%
富士見財産区	1,374万円	△67.1%	988万円	△74.6%
本郷・落合・境財産区	4億2,369万円	△63.1%	4億2,257万円	△63.2%
乙事財産区	355万円	—	279万円	—
水道事業	7億5,761万円	△20.7%	5億9,320万円	△23.8%
収益的収支	7億5,761万円	△20.7%	5億9,320万円	△23.8%
資本的収支	8,988万円	△22.0%	2億4,227万円	△54.8%

※観光施設貸付事業特別会計・乙事財産区特別会計は平成14年度から設けられた特別会計です。

《特別会計》
特定の歳入をもって、特定の事業を行うなど、一般会計とは区分して設けられる会計です。